

# ほっかいどう

広報紙

その先の、道へ。北海道  
年5回発行(5・7・9・11・2月の下旬)



道産品が  
当たる!  
裏表紙をチェック!

2016年  
10月号  
平成28年9月発行  
通巻217号

【特集】未来へつなごう! 北海道の食

良質な食は、北海道の誇り。  
未来につながる農水産業を育て、  
世界への発信力を高めていきます。

北海道の発展を目指す、食の取り組みが盛んです。  
強みを生かし、産業を守り育て、新たな時代に向けて前進します。



将来を見すえ、  
北海道の魅力あふれる「食」で  
新たな一歩を踏み出しましょう。

北海道知事 石川 裕清



道産食品を  
もっと世界へ!

安全でおいしい「食」は北海道の大きな強みであり、道産食品は、国内はもちろん、海外でも高く評価されています。  
北海道の食産業を未来に向けてさらに発展させていこうと、道では、道産食品輸出1,000億円を目標とする「北海道食の輸出拡大戦略」を策定し、オール北海道による取り組みを進めています。  
近年、人口減少が進行し、国内の食市場の縮小が見込まれる中、経済成長が著しいアジアの国々など、海外に良質な道産食品の販路を広げていくことは、本道経済をリードする重要な取り組みといえます。  
この戦略では、高鮮度の水産物、コメや牛肉、道産スイーツなどを重点品目に掲げ、品目や相手国・地域の特徴に応じて輸出拡大を進めることとしています。  
ことし1月にシンガポールに開設した道のASEAN事務所などの海外拠点も活用し、道内企業や市町村などと一体となって、積極的に取り組みを進めていきます。

次代のための  
元気な農水産業づくり

国内外に向けて北海道の食の魅力を発信していくには、その基盤となる農水産業の発展が不可欠です。  
農水産業は北海道の基幹産業として重要な位置づけにありますが、時代とともに生産者の減少や高齢化が進んでおり、担い手の育成・確保が急がれています。また、経営体質の強化や付加価値の向上などに取り組み、成長産業としての基盤強化を進める必要があります。  
そこで農業では、関係機関・団体などとの連携により、担い手の育成・確保を図るほか、ロボット技術やICT(情報通信技術)を活用した作業の省力化や品質向上に取り組むことで、効率的・高収益な生産に向けた環境づくりを進めています。  
また、水産業では、栽培漁業などによる生産力の強化に加え、近年、課題となっている消費者の「魚離れ」に対応するため、魚の消費拡大につながる新たな取り組みを行っています。

市場開拓と産業の  
基盤強化を両輪に

北海道が将来にわたって発展していくためには、活発な産業が地域に根つき、担い手が希望を持って取り組んでいける環境づくりが大切です。  
道では、その実現のため、「市場開拓」と食を支える「産業の基盤強化」を両輪として、北海道の強みである食を着実に発展させていこうとしています。  
中面では、その具体的な取り組みを紹介します。

北海道クイズ  
北海道のクリーン農業をPRするキャラクターの名前は?  
ハ○○ダ博士 & クリーんだね  
答えは中面下に▶



# 特集 未来へつなごう！ 北海道の食産業を上げ、次代の成長産業に育てるために。

国内外の市場開拓を進め、農水産業のたくましい基盤づくりを。次代に向けて進められているさまざまな取り組みを紹介します。

## 世界に広がる北海道の食

### ●企業や地域の海外展開を支援

道が進める「北海道食の輸出拡大戦略」では、安全・高品質・こだわりの道産食品を、確実に低コストで現地に届けるための商流・物流網の整備に取り組んでいます。その一つが、アドバイザーによる企業支援。輸出事務に精通したアドバイザーを海外と道内に配置し、輸出に取り組む道内の食関連企業などに対して事務のサポートや現地での商談支援などを行っています。

また、市町村や地域の企業、生産者、振興局などが一体となった地域発の海外展開の取り組みも支援しています。プロジェクトチームでの検討や海外プロモーションの実施などを通じて、地域の海外発信力の強化や販路拡大を目指します。

▶【企業向け支援】道庁食関連産業室 ☎(011)204-5138

▶【地域向け支援】道庁国際経済室 ☎(011)204-5339

### ●アンテナショップで道産食品を海外へ発信

北海道のアンテナショップ「北海道とさんこプラザ」の海外初店舗が、昨年11月にシンガポールにオープンしました。場所は、シンガポール中心部の商業施設。実演販売コーナーを設け、水産加工品や乳製品、農産加工品、菓子など約160品目を扱っています。

経済成長の進むASEAN(東南アジア諸国連合)の経済の中心であり、ことし1月に北海道ASEAN事務所を開設したシンガポールへの出店は、道産食品の販路拡大や情報発信に大きな役割を果たしています。

また、ことし5月には多くの外国人客が訪れる真知安町にサテライト店を開設し、国内からも道産食品の魅力を外国人に向けて発信しています。

▶道庁食関連産業室 ☎(011)204-5766

「北海道とさんこプラザ」シンガポール店

### ●道産スイーツなどの輸出支援を強化

道では、北海道ブランドとして質の高い道産食品を安定的・継続的な取引につなげていくため、海外での新市場開拓や販路拡大に力を入れています。

道産食品の中でも、スイーツは外国人観光客に人気が高く、輸出額の伸びが期待できる分野として、地域の菓子メーカーと連携し、テスト輸出や商談会などに取り組みます。このほか、機能性食品の販路拡大や、イスラム圏向けの新市場開拓も進めています。

▶道庁食関連産業室 ☎(011)204-5138

**新たな環境への挑戦は、自社の価値を磨き続けること。**

江別市 (株)ベイクド・アルル 代表取締役 藤田 秀一さん

創業23年の当社は、地元江別産の小麦をはじめ、牛乳、生クリームなど良質な道産素材を使った洋菓子を製造しています。当社が海外展開を始めたのは2010年。「小さな会社でも夢を持って挑戦すれば可能性を広げられる」ということが、従業員約90人のやりがいに結びついてほしいと、事業を進めてきました。

当初、マレーシアと中国に進出したときは、物流や価格、人材確保など、さまざまな課題に直面しましたが、昨年出店した韓国では、それらの課題を乗り越えて現地の人々と信頼関係を築くことができ、家族のように助け合っているようになりました。江別で生まれたロールケーキやソフトクリームは、現地のお客さまにも愛されています。海外展開は、失敗から得るものほが大きい。「自らの利益を追うのではなく、新たな環境に踏み出すことで、自社の価値を磨き続ける」という考え方が大事だと思います。

韓国にある「ベイクド・アルル」の店舗

## 未来に向けて進化する農業

### ●先進技術を活用したスマート農業

農業を基幹産業とする北海道にとって、担い手の不足や高齢化は大きな課題です。そうした中、ロボット技術やICT(情報通信技術)を活用して超省力生産や高品質生産を実現する「スマート農業」に期待が高まっています。

GPS(全地球測位システム)の位置データにより、トラクター作業を正確にガイドする装置や走行しながらセンサーで作物の生育状況を測定し、最適な追肥を行うシステム、酪農の搾乳ロボットなど、道内の導入事例も増えています。道では、地域の営農実態に合わせたスマート農業技術の活用により、本道農業の新たな可能性と魅力を引き出す取り組みを進めています。

11月30日・12月1日に、世界最先端の農業技術を一堂に集め、比較体験ができる「スマート農業フェア」を札幌で開催！ ▶道庁技術普及課 ☎(011)204-5380

**搾乳ロボットによる省力化でより高度な牛の健康管理ができます。**

新得町 農業生産法人(株)シントクアムルック 取締役牧場長 北村 一哉さん

ことし3月に生産を開始したこの牧場は、新得町農協と酪農法人が設立した研修牧場です。背景には、酪農家戸数の減少が地域の衰退を招かないよう、新たな担い手を育てなくてはならないという危機感がありました。約500頭規模の牛舎を管理するのは、職員4人と研修生2人。同じ規模だと通常は10人以上が必要ですが、ここでは搾乳ロボット7台を導入して一頭一頭のデータを管理。活動量や乳量、乳質などさまざまな数値を牛の健康管理に役立てています。搾乳ロボットを使う研修牧場は日本初。搾乳を機械に任せる代わりに、研修生は一頭一頭を自分の目で観察し、牛の健康管理や経営管理の勉強を積んでいます。先進技術の活用が進むほど大切なのが、牛に対する目配り。その意味では、人間にしか持てない洞察力と経営感覚が以上に重要になってくると思います。

搾乳ロボット

## 消費拡大で水産業を元気に

### ●消費者目線で「今日はお魚！」キャンペーン

海に囲まれた北海道は豊富な水産資源に恵まれ、全国一の水産物生産量を誇っています。一方で、食生活の変化などに伴い「魚離れ」が進んでいることから、水産物の国内消費量は減少傾向にあり、地域を支える水産業への影響も心配されています。道ではこうした状況に対応するため、メディア、販売・流通、食品メーカー、水産関係者などで構成する「北海道もっと食べようお魚協議会」を立ち上げ、委員の意見をともに提言をまとめました。

消費者から「魚が食べたい！」というニーズを引き出すため、「今日はお魚！」を合言葉に、生産から消費に至るすべての関係者が一丸となって水産物の消費拡大に取り組んでいきます。 ▶道庁水産経営課 ☎(011)204-5466 今日はお魚

**魚の良さを伝えるだけでなく、食べる人を増やすアプローチを。**

札幌市 北海道もっと食べようお魚協議会委員 NPO法人のこたべ 代表 平島 美紀江さん

食育に関する情報誌などの編集や交流イベントの運営を手がけて9年目。生産者のいいものをつくる努力は、それを消費で支える人がいないと成り立たないので、「価格で選ばない消費者を育てたい」という思いで食育活動に取り組んでいます。日本人の多くは魚好きなのに、においや手間が理由で魚離れが進んでいるのももったいないこと。協議会の提言をきっかけに、私たちメディア関係者も魚の消費拡大を目指す「今日はお魚！」キャンペーンに取り組んでいきます。例えば、お父さんたちが魚のおろし方を学びながら料理を楽しむイベントなど、取り組みはさまざま。子どもが魚に触れる機会を作ることでも大切で、目の前で魚をさばって調理すると喜んで食べてくれます。魚の良さを伝えるだけでなく、食べる人を増やす取り組みを私たちも応援したいと思います。

子どもを対象とした魚の調理教室

## お知らせ 北海道

### 道州制特区のアイデアを募集

本道の活性化や道民生活の向上につながる国からの権限移譲などを受けるため、道州制特区提案のアイデアを募集しています。現在の法律や制度の「ここを変えればもっと良くなること」などがありましたら、ぜひご提案ください。

- 例えは
- 新しい事業を思いついたが、法律の規制があるため実現できない
  - 法律で決められている申請や届出先がたかさんあって時間がかかる
  - 東京と同じ基準で決められているのは不公平
  - 積雪寒冷という北海道の不利益な条件でも、他県と競争できるようにしたい など

道州制特区提案に向け、道民の皆さんとともに進んでいくために、たくさんアイデアをお寄せください。

〒060-8588 (住所不要)  
北海道総合政策部  
地域主権・行政局 地域主権課  
FAX (011)232-2743  
メール sogo.syukendousyu@pref.hokkaido.lg.jp

道州制特区に関する詳しい情報は、道のホームページをご覧ください。

北海道 道州制 ▶ 道庁地域主権課 ☎(011)204-5160

### 9月は「動産差押強化月間」です

道では、道税の滞納を整理し、収入を確保するため、9月を「動産差押強化月間」として、集中的に動産や自動車の差し押さえを行っています。差し押さえた財産は、ヤフー(株)提供のインターネットオークションシステムを利用して売却を行います。

自治体が出品するため安心してお取り引きができ、24時間、全国どこからでも参加できます。



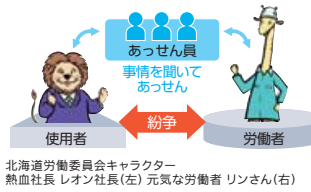
公売参加申込期間※1	9/28(水) 13時～ 10/14(金) 23時
せり売り形式	10/21(金) 13時～ 10/23(日) 23時
入札形式※2	10/21(金) 13時～ 10/28(金) 13時

詳しくは9月28日(水)13時以降、次のホームページで確認できます。

●道税ホームページ  
北海道 インターネット公売 ▶  
●官公庁オークションホームページ  
北海道 道州制 ▶  
▶道庁地域主権課 ☎(011)204-5160

### 労働トラブルの解決を支援

「個別の労使紛争あっせん制度」は、退職の要や賃金の引き下げ、各種ハラメントなど、個々の労働者と使用者間に発生した労働紛争を解決するため、専門のあっせん員が問題点の整理や助言を行います。無料で利用でき、当事者のプライバシーを厳守。事務局(札幌市)から離れた地域には現地に出向き対応します。どうぞご利用ください。



▶北海道労働委員会事務局 ☎(011)204-5667

### どさん子体力アップ強調月間

北海道の児童生徒の体力は少しずつ向上していますが、依然として全国平均を下回っており、運動習慣の定着が課題となっています。

そのため、今年度から毎年10月を強調月間とし、学校、家庭、地域、行政が一体となって、子どもたちが運動やスポーツの楽しさを実感できる機会を充実させ、体力向上に取り組む環境づくりを推進します。詳しくはホームページをご覧ください。

▶道庁教育委員会健康・体育課 ☎(011)204-5752

### 後期高齢者の健康診査を

後期高齢者医療制度加入者を対象にした健康診査を全道の市町村で行っていますが、北海道の受診率は、全国平均よりも低い状況にあります。

**1年に1回 健康診査を受けましょう**

後期高齢者医療制度加入者の方へ、健康診査は、あなたの健康状況を知る第一歩です。生活習慣病などの発見や重症化予防に役立ち、早期治療へつながる大切な機会となります。年に1回は受診しましょう。日程や場所、費用は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

▶道庁国保医療課 ☎(011)204-5246

### 老人クラブに参加しませんか

老人クラブは、概ね60歳以上の皆さんが、それぞれの経験や知識を生かして助け合い、楽しく生きがいをもって地域社会で生活するための自主的な組織です。

町内会や自治会などの同一小区域に居住する方々と結成され、健康づくりや仲間づくり、ボランティア活動などを行っています。詳しくは、各市町村の高齢者福祉窓口か、老人クラブ連合会までお問い合わせください。

▶道庁高齢者保健福祉課 ☎(011)204-5176

## 地域ニュース

### 宗谷総合振興局 高校生が地域の「ひと」や「しごと」の魅力を紹介「宗谷ひと図鑑」

地元で活躍している人々を高校生が取材し、図鑑にまとめる「宗谷ひと図鑑事業」が進行中。高校生が地域の魅力をPRツールとして活用し、宗谷への移住定住も促進します。昨年制作した「ひと図鑑」第1弾をホームページで公開中。どうぞご覧ください。

▶宗谷ひと図鑑 ▶地域政策課 ☎(0162)33-2509

### 道南いさりび鉄道で、のんびり楽しむ旅を

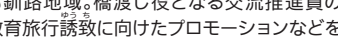
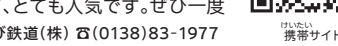
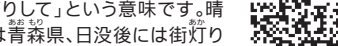
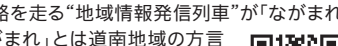
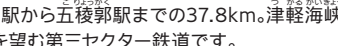
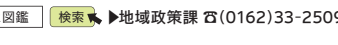
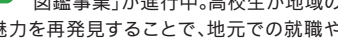
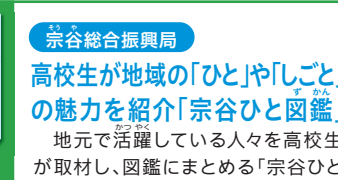
北海道新幹線と同時に開業した道南いさりび鉄道は、木古内駅から五稜郭駅までの37.8km。津軽海峡や函館山を望む第三セクター鉄道です。この鉄路を走る「地域情報発信列車」が「ながまれ号」。「ながまれ」とは道南地域の方言で「のんびりして」という意味です。晴れた日には青森県、日没後には街灯りや沖合の漁火といった景色が楽しめて、とても人気です。ぜひ一度ご乗車ください。

▶道南いさりび鉄道(株) ☎(0138)83-1977

### 釧路総合振興局 東京都との交流で、釧路の魅力でPR

東京都荒川区との交流事業が進む釧路地域。橋渡し役となる交流推進員の配置や、PRのための立体映像の制作、教育旅行誘致に向けたプロモーションなどを展開します。また、10月15日(土)・16日(日)には、荒川区のイベント「にっぽりマルシェ」に「北海道・釧路1旬!!秋の味覚市」として参加の予定です。これらの取り組みが東京都との交流を進める先進的な事例として、道内の各地域にも広がるのが期待されています。

▶商工労働観光課 ☎(0154)43-9184



## 道議会から

### 平成28年第2回定例会(6/21~7/8)

第2回定例会の一般質問(19人)では道政上の重要な諸課題について活発な議論が交わされました。これら議論の経過を踏まえ、道の全任命権者(知事、教育委員会、警察本部長等)が連携した飲酒運転根絶に関する条例の理念実現、道内空港の民営化に関し一体的な運営と各地域の経済活性化、本道観光産業の一層の発展を目指すための受け入れ体制整備、産業用大麻の利活用、待機児童解消のための保育の担い手確保について意見が付けられた上で、知事から提案された予算案3件、条例案14件、その他の案件の4件を原案可決、報告案件1件が承認議決、人事案件2件が同意議決されました。

また、議員及び委員会から提出された決議案2件、意見案14件が原案可決されました。

- 平成28年度一般会計補正予算(第1号)
- 総額2500万円
- 平成28年度一般会計補正予算(第2号)
- 総額29億700万円
- 可決された決議案
- 2026年冬季オリンピック・パラリンピック競技大会の北海道招致に関する決議
- パングラデシュ・ダッカにおける襲撃テロ事件等に関する決議
- 可決された意見案
- 指定生乳生産者団体制度の存続を求める意見書

道議会ホームページでは、議員一覧、議会の日程、議会議中継、本会議の審議概要、傍聴・見学や請願・陳情提出のご案内、議会時報など、さまざまな情報をパソコンやスマートフォンでご覧いただけます。なお、質問などの詳細は、市町村役場等に配付している冊子「北海道議会時報」でもご覧いただけます。

▶道庁事務局政策調査課 ☎(011)204-5691



# 北海道 ひと・人・くふう

アイデアも道産!

富良野市 札幌市

北海道を豊かにする、地域の皆さんの「ひと工夫」を紹介します。

アイドル編

## 福祉に工夫!

### 高齢者や障がいのある方を歌って盛り上げるアイドル。

地域密着型の福祉アイドル【札幌市】



高齢者施設でのライブ

看護師や薬剤師を目指す学生3人組「Little★Star」と、働きながら活動する2人組の「Twinkle★Twinkle」は、地域密着型の福祉アイドル。北海道科学大学看護学科の先生がプロデュースするこの2組は、2014年から医療・福祉施設をはじめ、町内会や商店街などで年間40回ほどのライブ活動を行っています。観客の年代に合わせて、懐メロからアイドルソングまでを歌って踊り、会場は大盛り上がり。高齢者や障がいのある方々もリズムをとって、とても楽しんでます。

「Little★Star」と「Twinkle★Twinkle」

相手の気持ちを知ること  
地域の人を元気づけたい。

吹奏楽部だった学生時代、老人ホームや養護施設で演奏して自分も感動した経験があり、福祉系アイドルのアイデアが浮かびました。高齢者には孫のように可愛がられ、「普段とは違う表情が見られた」と介護士の方に驚かされたこともあります。活動を通じて、いろいろな方の気持ちを理解し、地域を少しでも元気にしてほしいと思います。学生ユニット「Little★Star」は2018年春卒業、後継者を募集中です。

北海道科学大学保健医療学部看護学科 市川 正人 准教授

▶お問い合わせ 北海道科学大学 ☎(011)688-7137(研究室直通)

## 食のPRに工夫!

### 富良野のソウルフードづくりに高校生アイドルが活躍。

ふらのカレンジャー娘【富良野市】



地元スーパーでの試食会

道立富良野緑峰高等学校では2004年から、園芸科学科カレー専攻班の生徒で結成した「ふらのカレンジャー娘」が、カレーのまち富良野をアピールしてきました。地域と連携するプロジェクト学習の一環で、地元の食材を使ったオムライスとカレーの合体メニュー「富良野オムカレー」をテレビや雑誌、イベントなどで全国に発信。また、最近では地元喫茶店で生徒が作ったオムカレーの販売や小学校での食育講座、市内スーパーでの試食会など地域向けの活動にも力を入れています。

12代目ふらのカレンジャー娘

楽しむだけではなく、責任感が芽生えてきます。

活動期間は2年生の2学期から卒業するまでの1年半。将来の進路も意識して専攻する生徒が多いです。各地のイベントに参加し、最初は「楽しい」だけの生徒も、校外の大人と関わり、未知の経験を重ねていくうちに、「地元のために活動している」という責任感が芽生えるようになります。大阪の「たこ焼き」のように、郷土愛あふれるオムカレーになるとうれしいですね。

北海道富良野緑峰高等学校園芸科学科 杉田 慎二 教諭

▶お問い合わせ 北海道富良野緑峰高等学校 ☎(0167)22-2594

## キラキラ! 子どさん

道内各地で、未来に向かってきらきら輝くそんな子どもたちを応援します。

中学生のアイデアをまちぐるみで実現します。

浦幌町

町立浦幌中学校の「まちおこし学習」 浦幌町

町立浦幌中学校では3年生を対象に、まちを活性化する企画を考案し、発表する学習を8年前から行っています。地域の人々が全面協力し、生徒が考えたキャラクターによるPR活動をはじめ、特産品を使ったお弁当や、高齢者と若者が交流できる「まちなか農園」が実現しました。昨年は、町内に高校を復活させたり、移住者を増やしたりといった「人口増加」をテーマにしたアイデアを発表。担当の金田学先生は「まちおこしは大人が考えるものと無関心だった生徒が、まちの一員だと自覚するようになった」と、成果を実感しています。



昨年のアイデア発表会

▶お問い合わせ 町立浦幌中学校 ☎(015)576-2421

## 当たる! 北のおいしさ!

ホクレンの北海道米「菘(喜)ななつぼし」(精米5kg、新米)をプレゼント! 独自の品質基準を満たしたおいしいお米です。

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

抽選で30名様

次のアンケートに答えて道産品を当てよう!

10月号の中で興味を持ったのは、どの記事ですか

①特集(未来へつなごう! 北海道の食) ②お知らせ北海道 ③地域ニュース ④道議会から ⑤ひと・人・くふう ⑥キラキラ! 子どさん

●応募方法: アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募期限: 10月27日(木)必着 応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

●応募先: ハガキ ☎060-8588(住所不要) 携帯サイト

北海道広報広聴課「当たる! 北のおいしさ!」係

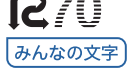
パソコン 広報紙ほっかいどう 検索

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。\*8月号のプレゼントには、1,958件の応募をいただきました。

北海道の人口	総人口	男	女
平成28年6月末	5,381,711人	2,542,195人	2,839,516人
前年同月比	30,345減	15,549減	14,796減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

次号のお知らせ 12月号は11月23日(水・祝)から配布予定です。



この広報紙は環境に優しい植物性インキと古紙配合率70%再生紙を使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

広告

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。